

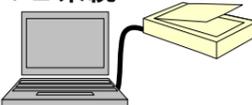
平成27年度に実施する都立高等学校入学者選抜における実施方針について

平成26年度に実施した選抜における採点誤りに関する主な再発防止・改善策

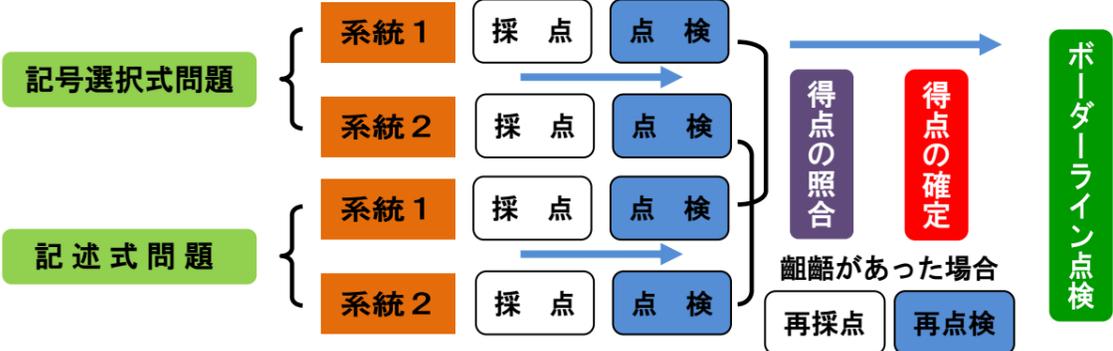
① 学力検査翌日から合格発表日の前日までの日数の増加

- 3日間から4日間に1日増
1日目：採点日 2日目：採点日 3日目：合否判定 4日目：発表準備

② マークシート方式の導入

- マークシート方式モデル実施校（20校）で実施
 - 記号選択式問題 「デジタル採点」「紙による採点・点検」の2系統
 - 記述式問題 「デジタル採点」での2系統
- 

③ 2系統による採点・点検方式の導入



1 採点・点検の日数増の主な成果と課題

資料1 参照

〔成果〕

- 採点・点検期間が1日伸びたこと、生徒を登校させないことで業務に集中できた。

〔課題〕

- 生徒を登校させないこととした1・2日目の採点日の中で全教科の合計得点が確定できず、3日目の合否判定及び4日目の発表準備や在校生の教育活動に影響が出た学校があった。特に記述式問題では、デジタル採点、従来の紙による採点・点検どちらも相当の時間を要した。

2 マークシート方式の導入の主な成果と課題

資料2 参照

〔成果〕

- OMR（マークシートを読み取る機械）による読み取りにかかった時間は短時間であった。
- 「デジタル採点」「紙による採点・点検」の2系統による採点後の照合の結果、正しくマークされている解答を、OMRが誤って読み取るという異常はなかった。

〔課題〕

- 受検者のマークの仕方によるエラーがあったことから、受検者がマークシート方式の解答に十分に慣れた状態で受検できるようにすることが必要である。
- 記述式問題については、「デジタル採点が適したもの」と「紙による採点・点検後に採点結果を入力する方法が適したもの」があるため、効率的な採点となるよう改善する必要がある。

3 2系統による採点・点検方式の主な成果と課題

資料3 参照

〔成果〕

- 平成25年度に実施した選抜における採点の誤りのうち、大半を占めていた「誤答を正答として採点した」「合計点を誤って算出した」などの『単純ミス』は大きく減少した。

〔課題〕

- 部分点のある記述式問題の採点について、都教育委員会が規定した基準どおりに採点できなかったことにより、誤字・脱字等の表記に関わる採点の誤りが増加した。

平成27年度に実施する都立高等学校入学者選抜における実施方針

- ① 共通問題を使用する全ての学校において、原則、マークシート方式を導入
- ② 部分点のある記述式問題の採点の誤りを防止するため、2系統による採点・点検から誤字・脱字等の表記の確認に特化した系統を加えた3系統に変更。また、誤字・脱字の取扱いなど、採点基準の詳細については、各学校で受検者の実態に応じて適切に定める形に変更
- ③ 記号選択式問題においても思考力をみることができるよう一層工夫し、マークシート方式で解答する問題を増加

資料4・5 参照